

## 西部緑地公園再整備構想検討委員会 第3回新県立野球場整備検討部会 議事録

日時： 令和5年4月21日（金）13時30分～15時00分

場所： 石川県庁 11階1102会議室

出席者： 検討委員6名、県民部長、スポーツ連携次長、スポーツ振興課長ほか

以下、意見交換の内容を記載

### 【青木部会長】

今ほどご説明いただきました骨子案について、委員の皆様からご意見を賜ればと思いますが、利便性の向上や賑わいの創出については、非常にたくさんのご提案をいただいております。これについては、皆さん様々なご提案があるかと思っておりますので、その前に、1番から4番にかけて、この骨子で進めていくということを固めながら、ご意見をいただければと思います。

### 【池田委員】

昨年12月までの2回の会議のことについては、年明けてから野球協会の理事会や評議員会の場で、新県立野球場についてはこのような内容で構想が進んでおりますと報告させていただきました。正直なところ、人工芝がいいという意見や天然芝がいいという意見は分かれているのが現状です。そういった点では非常に悩ましいところですが、個人的には天然芝でやっていただきたいと思っています。第2回の委員会で私が発言したスコアボード一体型であるとか、広い室内練習場の確保、会議室の確保など、そういった点は骨子案に盛り込まれておりますので、私としては拝見して、この野球場が早く建設に進むことを待ち望んでいるというところです。

これは難しい話ですが、評議員会で一部の方から、こういった球場を能登の方にも造っていただきたいという話もありましたが、余談として触れさせていただきます。私として、骨子案に対してのざっくりとした意見・感想はそんなところです。

### 【青木部会長】

池田委員から野球協会のご意見もいただきながら、事務局の提案には、ある程度賛同をいただくという話かと思えます。ただ、前回の部会でも様々な議論をいただきましたが、天然芝・人工芝の話で小菅委員からもご指摘・ご説明をいただきましたが、選手ファーストを考えるとけがの防止とかということで、私たちの意見としては、天然芝ということで、お話を事務局に聞いていただくというような経緯でございます。

高校生を総括されている居村委員は、骨子案を見ていただいているかがでしょうか。忌憚のないご意見をいただければと思います。

### 【居村委員】

前任の村戸会長から引き継いで、私の方で務めさせていただければと思います。

4月7日に高野連の役員会でこれまでの議論を踏まえたうえで、新野球場について何かご意見があればということで話してまいりました。その中で、ここにも書いてあることですが、高校野球の聖地にふさわしいということは非常にありがたいということしかありません。本当に球児たちが一生懸命プレーして思い出を刻めるということは、多くの方に考えていただいていることは、本当に感謝しなければいけないと思っております。

人工芝・天然芝の話はですが、日程どおり進むということはある意味選手ファーストの面もでございます。や

はり高校生は授業の問題がありますので、様々な大会が順延ということになると、デメリットを受けるという反面、ここにも書いてありますが、天然芝の場合はトンボをかけるということがございます。「する」「みる」「ささえる」というスポーツのかかわり方を考えると、きれいな球場でトンボをかけるということは、子供たちにとって、やってみたいのではないかと、モチベーションが上がるのではないかと思います。非常に教育的な価値があると、感謝の気持ちも自然に芽生えてくると思います。いずれも捨てがたく、それぞれメリットが違う方向にいますが、本当の意味での選手ファースト、きちんとしたものを造っていただければ、それにあわせて高野連の方は選手に対しきちんと説明して使わせていただくということがあるべき姿かと思えます。

塀が高いと距離感が感じられて、選手の息遣いやそうしたものを感ずるためには、フェンスは低い方がリピーターになっていただく確率が高いのではないかという意見を聞きました。その分、たくさんの敷地が必要になってくるかと思いますが、率直な意見・感想としては、塀が低い方が身近に感じられる。また、観客がたくさん入られる時があります。そうしたときに、応援団が身近に感じられることは、選手にとっても応援する側にとっても、有難いことなので、そういう視点は高野連の役員会でもございました。

最後のところは後程ということで、現時点では、このようなこととございます。

### 【青木部会長】

高野連の方でも、取りまとめていただいたご提案にはそれほど違和感はない、むしろ早く建てろというようなことかと思えます。ただ、野球を専門にやられている方にとって、天然芝・人工芝ということは、議論になりますが、先ほど申しましたとおり、どちらか決められないという中で、教育的な配慮ということを含めながら、議論していただいたということでした。

前回は、天然芝のいいところ、人工芝のいいところを教えてくださいましたが、多くのスポーツ施設を見てこられた小菅委員いかがでしょうか。

### 【小菅委員】

前回はいろいろと申し上げた記憶がございしますが、私個人的には人工芝でなくて、天然芝というのは、今回の資料の中にも記載しておりますけれども、選手の身体にとって悪影響がないという視点と、それから人工芝であるならば、今騒がれているマイクロプラスチック、海洋汚染の問題がありますので、それに対応するそういう設備が必要であるし、暑さ対策も必要ではないかということ、そして一番重要なのは高校野球の聖地というコンセプトをもって造ろうとしております。ご承知のとおり、甲子園は人工芝でなく、天然芝であります。ということですから、私も昔の職場においては、ここに記載もありますが、オリンピックの鉄棒の選手であれば、必ず同じメーカーの製品を使う。微妙なしなり具合が違うとか、そういったことがあります。それに置き換えると、やはり甲子園でいい成績を収めるためには、日ごろからそういった環境で行っている方がいいのではないかと、このように申し上げたところです。前回を通じて、よくまとめられていると思っております。

国立競技場でも事務局としていささか携わった経験がございします。そしてまた、これからPFI コンセプションという形で秩父宮ラグビー場も造ろうとしている中で、コンセプトはさほど違くないかと思っております。さきほど、「する」「みる」「ささえる」という言葉ありましたが、第2期スポーツ基本計画、今回の昨年スタートした第3期の中にも「する」「みる」「ささえる」が踏襲されていますが、多少ニュアンスは違いますが、「する」を今回のコンセプトに置き換えると「選手ファースト」、「みる」観客の立場に立っていかんにかいい状態で見られるのか、「ささえる」整備を担当する方々の控室ということで理解すればいいのか整理ができていませんが、そういった

全般にわたって、説明を伺いながら感じたところです。

### 【青木部会長】

先ほど、居村委員からもありましたが、観客の立場に立った時の考え方をどうするのか、観客の方々が臨場感をもてることが必要に重要であると思います。そういうような考え方が今ほど小菅委員からもいただいたように選手ファーストでありながらも、観客、それから「ささえる」は難しいなとありましたが、ここの球場のコンセプトの県の高校野球の聖地としてという言葉のを忘れるなというようなご指摘だったと思います。

そうはいうものの、男性の野球だけではなく、女性も利用していく中で、松本委員からもご意見いただければと思います。

### 【松本委員】

先日のWBCは、見る立場で見えていましたが、グラウンドを見る目線の高さが、いろんなSNSにでてくる映像などを見て、近さであったり、低さであったり、こんなにも迫力が違うのかと感じました。やっている方も緊張感というか、見られているという感覚が強く感じられるだろうとも思いました。

芝の話はきりが無いと思いますが、プレーヤー目線から言うと、雨の日は試合があるのかないのか、何時からやるのか、そわそわというか、中止なら早く中止にしてほしいという、個人的に苦手です。そういった点で、人工芝であれば、そういったことが減るのかなと感じています。実際、人工芝のグラウンドで試合をしたことがないので、体の負担はわかりませんが、あまり差がないのかなと思います。

あとは、お金をかければ、きっとみんながWin-Winな感じになるような球場になると思いますが、その辺は難しい問題だと思います。女子野球はあまり認知されていないため、見られるということもあまりありませんが、お客さんというレベルではなくて身内に近い形なので、話がそれてしまいますが、機会があれば女子野球の聖地にもなってほしいなと思います。全国大会を石川県で開催して、野球やるなら石川県という風になるといいなと思います。

### 【青木部会長】

是非そうなればいいなと思いますし、まさに、おっしゃるとおり女子野球の聖地として、盛り上げていくことは非常に重要なことであると思います。それこそささえる人を含めて、この野球場を使ってそういったことができれば、みなさんにとっていいことだと思います。

ここに、ユニバーサルデザインということで、田中委員からたくさんご指摘をいただいて、ある程度盛り込まれていると思いますが、田中委員からご意見をいただければと思います。

### 【田中委員】

大体、私が言ったことは取り上げられたと思います。2回目の部会の後に、協会が集まって検討した際に、聴覚障害者の方からスコアボードについて、目で訴えるものがあれば非常に良いと言っておられましたので、具体的なことはこれからかと思いますが、こういった形でやっていただければと思います。中には、寝たきりのお子さんを持たれた方がいらっしゃるかもしれませんが、ストレッチャーで寝ながら見られるようなということも意見としてありましたので、フェンスを低くするといったこともいいのではないかと話もありましたので、大体、こういった形にしていいただければと思います。

車いすの方でも、将来高校野球の監督やってみようかという方も出てくるのではないかと思いますので、ダグアウトもバリアフリーにさせていただけると非常にいいのではないかと思います。具体的ことはこれからかと思いますが、よろしくをお願いします。

### 【青木部会長】

私個人的にはその観点はなかったものですから、寝ながら野球を観戦するというので、そのためにもフェンスの高さは、難しいかもしれませんが、配慮するように考えていただきたい。先ほど、居村委員、松本委員からも今度はフェンスの高さに留意いただきたいというご指摘でありましたので、また検討をお願いします。

田中委員から前回、宿題をいただきまして、駐車場の問題単なる野球場の駐車場近くに置けばいいというわけではなく、スペースの問題、動線の問題を全部含めた野球場、西部緑地公園を考えろというようなことをご意見いただきまして、親会にお願いをしてまいりました。

田中委員には、障害者スポーツ協会の皆様にはご説明いただいて、先ほどのご意見をいただき、大枠として進めていただければいいのではないかと思います。

続いて5番目、利便性の向上、賑わいの創出ということで、難しい問題だなと思います。今まで、たくさんの資料を見せていただいて、説明いただきましたが、これについては、本来の野球場から少しズレる部分もできると思います。これは様々なご意見があろうかと思いますが、いかがでしょうか。

### 【居村委員】

高野連の役員会であった意見ですが、やはり少子化で野球に携わる方が少なくなっているのは、実感としてあると、先ほども松本委員からもお話がありましたが、WBC がきっかけ、チャンスになっていると、ここでまた施設が新しく立派になって、野球にかかわってくれる人が増えればと、高校野球の聖地にもつながってきますが、子育て世代の人をターゲットにした方がいいという意見が役員会でもありました。具体的な内容までは触れられていませんが、例えば、兄が高校野球をしていて、弟や妹が遊びにきたりと、あるいは従兄弟が出ていて、乳児を抱えているようなお母さんがきたり、そういった子育て世代の人たちに優しい視点が盛り込まれているのではないかと、特に理事長から伝えてほしいということでありました。そういう子供たちが安心して遊べるということが、日常的に行われるようになると、その子たちも野球を見ることにつながってくると、そこには当然、高校野球があると携わってくれる人が出てくるということにつながってきますので、そういったことになってくれればいいなということを申しておりました。そういった視点を持つことで、結果として人がきて、賑わいにつながってくるのではないかと思います。

### 【青木部会長】

多くの子育て世代の人たちに魅力的なことかと思いますが、ここで整理しなければいけません。西部緑地公園としての賑わい、野球場の中でどういう賑わいとして取り込めていけるかというようなことで、ここにランニングコースがありますが、公園全体の中の野球場としてやはり視点で考えていかないと、野球場だけでぐるぐる回っていてもという話ではないと思いますし、今回は野球場の中でどのような賑わいを盛り込んでいくか

たくさんの資料をご提案いただきましたが、小菅委員はより見ていると思いますので、お教えいただければと思います。

## 【小菅委員】

今、部会長からお話しいただきました、最初のころの資料を見ながらですが、産業展示館も4つを合体してとか、緑地公園内には、補助競技場もございますし、テニスコート、ソフトボール場もあるということで、まさに部会長がおっしゃるとおり賑わいの創出ということは、みんな考えるわけでありますけれども、野球場でありますので、どういうふうを考えるかということ、専用野球場ですので、賑わいの創出というときに、シーズンオフ、野球で使いたいというオファーがないとき、それから雨天の時、通常何も無いときにいかに、機会を演出できるかと全体として考えると、まずは専用野球場の機能が外せないわけであります。しかしながら、持続可能という言葉は流行りですが、持続可能というのは一つ、収益性ということがありますので、収益が悪いとなかなか続けることができないということがありますので、適度な収入がないと難しいわけであります。どんな施設が野球にかかわりがあるか、よくあるパターンというのは、ラグビー場を造ると必ず、博物館という話になります。先ほど申し上げた秩父宮ラグビー場にも、スポーツ博物館を造ります。そもそももの凄い展示物があり、それをどこに収めるかということがいうことが課題ということで、そこに収めましたけれども、一方でラグビー場ありますので、ラグビー展示の要望もあるようです。今回は野球場なので、石川県の野球の殿堂というような、様々な展示物も含めてとか、そのようなものが考えられるのかなと思います。それから、トレーニングジムですが、野球場であれば、必要であろうと思います。また、野球というスポーツから離れていないと思います。そしてよくあるのは、スポーツ用品の販売コーナーも通常考えられると思います。ただし、西部緑地公園全体の構想の中には、産業展示館に設置ということがあろうかと思えます。野球場に野球製品だけ置くこともどうなのかと思えますが、全体の構想の中での問題であろうと思います。それからレストランですが、スポーツを純粋に観戦するという方もいますが、花より団子の方もいらっしゃいますので、野球ときにいかに、人を呼び込んで、お金を落としてもらえるかということが重要です。

## 【青木部会長】

やはり野球をやっていないときに、どう呼び込むかということをお考えいただきたいと思えます。博物館になりますと、当然、石川県は松井選手がいらっしゃいましたし、奥川選手もこれから頑張っていられるでしょうし、そういうことを考えると十分に私たちが見学したいと施設だと思えます。

池田委員も松本委員も、全国のいろんな球場を見られていると思えますが、こういう賑わいの件で、もし思い当たるようなことがありましたら、教えていただきたいと思えます。

## 【池田委員】

新県立野球場の構想と若干ずれるかもしれませんが、石川県野球協会として競技者人口を増やすことは、非常に重要な課題だと感じています。冬場は雨天練習場があればいいかなと思えますが、平日にどのような利用を増やすのか、一つの案として持っているのが、小学生の低学年や幼稚園児を対象としたティーボールという柔らかい止まったボールを打つ競技の推進です。県野球協会として、平日を利用して野球場でティーボールをやりませんか、ということで野球に興味を持っていただく。野球の競技者人口を増やしていく。場合によっては高野連に協力や、あるいは還暦野球の方にお手伝いいただくなど、球界全体でつながりを持って、競技人口を増やしていきたいと考えています。もっと広く、こんないい野球場がありますということを知ってもらい、そういう取り組み・働きかけを野球協会としてしなければいけないと思っています。平日利用の促進は重要であるなど常々思っております。

### 【青木部会長】

松本委員いかがでしょうか。

### 【松本委員】

同じようなことを考えておりました、私が野球を始めたきっかけを考えたときに、気が付いたらグローブとバットがありました。そういった環境があれば、おそらく興味を持つと思います。例えば、施設の中で道具の貸し出しがあってもいいのかなと思います。子供たちだけで大丈夫な施設であれば、子育て世代をターゲットにできるのではないかと思います。ただ、子供たちは飽きやすいので、キッズスペースなどがあれば、あそこに行けばいろんな事が出来て、その一つがティーボールであったり、ハンドベースボールであったり、そういった野球に近い競技が手軽にできる形にすると利用者が増えるのかなと思います。

### 【青木部会長】

お二方の意見は、野球場を造っていただければ、その運用について、賑わいを持たせるために、私たちが頑張りますという野球協会も女子野球も方々もそういった非常にありがたいアイデアを考えていただいているということだと思います。先ほどの居村委員の意見も、松本委員からも親子でということを見ると、やはり母親が必要とするスペースが盛り込まれてもいいのではないかというご意見ですので、その点についても検討いただければと思います。

障害者の方々に運動してもらおうとか。もう少し高齢の方々に活動してもらおうとか、そういったところが抜けているような気がします。そういったところは田中委員どう思われますか。

### 【田中委員】

パラスポーツの中でも最近、eスポーツをやってみようかと、重度の四肢麻痺方でも、何とかやってみようかという動きがあります。県障害者スポーツ協会の方でも、eスポーツに取り組んでみようかというお話はあると思います。県のふれあいフェスティバルという催しが毎年秋にあります、その中でもeスポーツのコーナーをやってみようかと実行委員会の中で話が出ていましたので、こういったeスポーツのブースがあれば、いろいろ教えていただいてやってみようかと思う方が出てくるのではないかと思います。

### 【青木部会長】

パラスポーツの中で、eスポーツがこれから欠かせない分野だというお話だと思います。これもまた、検討の中にいれていただければと思います。

これは、私の個人的な意見ですが、せっかく今建てるから、それに付随して例えば、クライミングしても、野球とは直接関係ないが、今建てるのであれば、これも検討してはいかがですかということです。

委員の皆さんには、大変活発なご意見をいただきました。今日委員の皆様、骨子案を検討していただきました。概ね、私たちのこれまでの議論が加味されて、このような形で進めていただければということでもとめさせていただきます。事務局の方は、この意見をもとに今後の整備構想の案を出していただければと思います。それでは、事務局にお返しいたします。

### 【酒井部長】

今ほどの意見をいただきまして、整備構想の案を取りまとめていきたいと思います。

今ほど議論の中にもありましたけれども、特に私が思ったことは、観客に配慮した野球場ということで、低いフェンスですとかそういうご意見をいただきました。具体のビジョンは入っていませんので、そういったことを付け加えることができないか検討させていただきたいと思います。

また、障害者団体とお話ですが、例えば、県立図書館を造った際にもオープンギリギリまで障害者団体の方と打合せさせていただいて、返却ポストを下げたらいいのではないかなど、いろいろ調整させていただきましたが、今後整理されていきますが、引き続きご相談させていただきながら、進めていきたいと思います。

部会長からもありましたが、西部緑地公園全体との整理の話が実際多くあると思います。駐車場も、先ほどの子育て世代とか、ランニングコースも西部緑地公園全体の意見として出ていたりもするので、そういったところとも調整を図りながら、やっていきたいと思います。当然こちらは、きちっとした野球場を造ることを前提として、議論等すり合わせながらやっていきたいと思います。

### 【田中委員】

バリアフリーの件ですが、県のリハビリテーションセンターがありますので、その中にバリアフリー推進工房がありますので、いろいろと具体的な専門家と一緒にやっていただければと思います。

### 【岩浜課長補佐】

これをもちまして西部緑地公園再整備構想検討委員会第3回新県立野球場整備検討部会を閉会させていただきます。皆様大変お忙しい中ありがとうございました。